

南千里丘周辺地区
まちづくりガイドライン

平成19年10月
南千里丘まちづくり懇談会

はじめに

南千里丘周辺地区のまちづくりにつきましては、南千里丘まちづくり懇談会を設置し、多くの市民の方々が意見交換を行い、『南千里丘周辺地区まちづくりガイドライン（以下「ガイドライン」という）』を策定しました。

このガイドラインは南千里丘周辺地区を摂津市の玄関口として、「産・官・学・市民」が相互に協力・協調しながら、魅力あふれるまちづくりを推進していくための指針です。ガイドラインにはまちづくりの基本的な方針が定められており、設計にどのように反映したかをチェックシートで確認し、地区計画の届出書と一緒に提出していただきます。

南千里丘周辺地区が魅力あふれるまちを形成し、維持していくために、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

目 次

1. 教育・文化／すべてのひとが豊かな心を育めるまち	1
(1) 生涯を通じてライフスタイルに合った多様な学び方ができるまちにしよう	1
(2) 様々な文化に出会い、気軽に楽しめるまちにしよう	2
(3) 世代を超えて交流ができるふれあいのあるまちにしよう	4
(4) 目的に合った情報を受発信できる仕掛けをつくろう	5
2. 福祉／すべてのひとにやさしいまち	6
(1) ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりをしよう	6
(2) 高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせるまちにしよう	7
(3) 安心して子育てができるまちの環境を整えよう	7
3. 健康・医療／すべてのひとが健康で明るく快適に暮らせる	9
(1) ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組めるまちにしよう	9
(2) 医療体制の充実したまちづくりをしよう	10
4. 環境／環境にやさしく緑ゆたかなまち	11
(1) 水と緑を大切にしたいうるおいとゆとりのあるまちにしよう	11
(2) 景観の整った美しいまちにしよう	12
(3) 資源の有効利用に取り組む環境にやさしいまちにしよう	13
(4) 生態系に配慮し、様々な生き物が暮らせるまちにしよう	14
5. 安全・安心／安全で安心できるまち	15
(1) 安心して歩くことができるまちにしよう	15
(2) 犯罪のない安全なまちにしよう	16
(3) 災害に対する備えが十分なまちにしよう	17
(4) 生態系に配慮し、様々な生き物が暮らせるまちにしよう	17
6. 利便性／市内外からの人々が交流でき楽しく活気のあるまち	18
(1) いろいろな交通手段が選択できるまちにしよう	18
(2) 長時間楽しく快適に過ごせるまちにしよう	19
(3) わざわざ来たくなる魅力のあるまちにしよう	20
(4) ほどほど社会を実現しよう	21
7. 協働／市民が共に関わり支えあうまち	22
(1) みんなで支えあい育てていくまちにしよう	22
(2) みんなでにぎわいや活気をつくり出すまちにしよう	22

教育・文化／すべてのひとが豊かな心を育めるまち

・生涯を通じてライフスタイルに合った多様な学び方ができるまちにしよう

生涯学習時代といわれる今、生涯にわたり「だれもが、いつでも、どこでも、どんなことでも」学ぶことができることが大切です。学ぶことの楽しさや喜びを味わいながら、最も適した場所や方法で、様々な学習や活動ができるしかけをまちに組み込んでいきましょう。

(例えば)

- ・ 学習室や集会室、会議室をつくる
- ・ 学習の成果を発表するホールや練習のための空間を用意する
- ・ リカレント教育のための施設をつくる
- ・ 市民活動を支援するしくみをつくる
- ・ 働く人の姿が見えるなど、まちのなかでさまざまな職業体験ができるしかけをつくる

※リカレント教育・・・社会に出た人が自己実現や職業能力の開発などに必要な知識、技術、教養を身につけるために再び受ける教育

- 生涯学習ができるような施設をつくる
- ダンス・演奏・朗読⇒自己実現+つどいあい。温浴・プール・エアロビ・体育⇒健康（長生き）
- 借室できる場
- 住民の文化向上の為に文化教室、ホールの充実
- 市民活動スペースの確保
- 市民が気軽に借りる事が出来、飲食も出来る（公民館等では禁止になっている）※市民活動のスペース
- メイファーのように・大中小のホールを備えた施設が欲しい・作品展示ができるスペース、飲食・喫茶も必要
- 吹田のメイシアターのような多目的ホール集会場など集中会議場をいろいろな大きさに作る
- 市民活動支援センターがほしい⇒市民の活動をサポートすることで街に活気を！
- 市民活動ができる集まりやすいスペース《サークル・ボランティアなど》《目的施》
- 生涯学習をするために・発表、プレゼンをするために会議室、パソコンを置く
- グループで集まって話し合いをしたり出来るワークスペースと活動をサポートするスタッフ
- 生涯学習の場・人材育成の場⇒学び合い・助け合い
- パソコンの基本的な事を教えてくれる教室・お茶室があるとうれしい
- イベント広場。農業祭やお祭りができる広場。音楽など自己表現の出来る場所。
- 計画の前に定住への施設を⇒市民活動
- コミュニティー（公共施設）の会館（福祉会館にかわるもの）など多目的に使用できる建物の建設を要望
- 子供からお年よりまで集まりやすいコミュニティセンターを作ってほしい
- 市民ホールを縮小したキッズホール（小ホール）を作って欲しい
- コミュニティセンターとしての機能を持った施設・ミニコンサート等（定期的）
- 情報発信のできるスペース、掲示板や作品展示、活動発表のできる場。
- 1F：文化ホール・医療施設 2F：教育施設・図書室 3F：市民交流ホール

- 教育として小さい時から「環境を考える」こどもたち。摂津の子供たちは環境を学んでいる
- リサイクル教育の場
- 職業訓練センター。マイスター
- 引越してこられたり、小さな子供さんを連れていらっしゃる方の子育てや悩みの相談が出来る場所。簡易の託児所を設置し、母親は子育ての勉強や互いに悩みを話し合ったり出来る場所
- ITサークル・学生ベンチャー・施設・学生村
- 創造する人物（知力・体力）
- 市民参画の喫茶コーナー
- 老人大学
- 生涯学習
- 会議室もオープンスペースにして、手軽に間仕切りして使いこなせるようにする。飲食可能な施設とする。
- 市民グループが事務局として低額で利用できるようにする。
- 市民の活動を盛り上げるために、企画をつくり、活動を支援する人材をストックする。
- 団体さんがミニコミ誌等作成したり、会議をする為の会議室
- パソコンやプリンター、コピー機があり、裁断出来る様な設備
- 健康体操など随時、誰でも利用できるホール。
- パソコンを使う世代には図書館、映画館、大ホールなどは使わなくなると思います。利用しやすいパソコン室を用意して欲しいと思う。
- 老人にIT教育←無料で
- 介護士の学校⇄福祉・教育。若い人がくる。
- 幼児のための定期的な音楽会を開催する
- 胎教。幼児の為の音楽会
- 自然を自然に学べる環境を提供できるまち

・様々な文化に出会い、気軽に楽しめるまちにしよう

個性化の時代、趣味や嗜好は多様化しています。鑑賞だけでなく、発表の場所や機会を用意し、市民一人ひとりが自らの興味にあわせて、多様な文化を気軽に楽しむことができる仕組みをつくっていきましょう。また、まちの文化や歴史に興味湧き、まちに愛着が芽生えるような仕掛けをつくっていきましょう。

(例えば)

- ・ 図書館や博物館、美術館、音楽ホールなどの文化施設をつくる
 - ・ 施設にミニ・ギャラリーをつくる
 - ・ 屋外に彫刻やモニュメントを設置する
 - ・ 大道芸や紙芝居、ミニコンサートなどが催せる空間をつくる
- 文化のある街・図書館・民俗資料がすてきに置いてある街
 - 駅を出るとクラシックが聞こえる摂津のまちと言われるようにしたい
 - 摂津市の個性（アイデンティティー）を出したい
 - まちの歴史を写真でつづるスペースをまちの中に設けて自分たちのまちに対する愛着を高める
 - 21世紀 金沢美術館（ふれあい美術館）
 - レトロ・古い時代の写真、地図・街並
 - ふれあい美術館。私が子供連れで楽しめる空間。ミュージアム
 - クラシックを口ずさめる文化的なコミュニティセンター

- 教育・文化。設備（教室、文化ホール）ある建物
- コミュニティセンターが欲しい。カメラコンサートを全国的に広げる為。
- アーティストを育てるコミセン
- 芸能のまち（らくご・オペラ・コーラス）楽しいもの。市民も参加できる物
- 本を読んだり、イベント等の情報を得たり交流（おしゃべり）等、集いくつろげる場
- まちの歴史を自然と学べるモニュメントや遺構のようなものを遊歩道でつないで楽しく散歩ができるコースが欲しい。途中にカフェやポケットパークや図書館、ギャラリー等があると一日中楽しめる。
- 1F：文化ホール・医療施設 2F：教育施設・図書室 3F：市民交流ホール
- 駅前に福祉会館と保健センター、文化ホールも含めた総合的な建物。
- 市民文化ホールよりも大きな文化施設が欲しい。食事と喫茶コーナーも併設する
- 図書館がほしい
- 図書館（憩い）本屋さん
- イベント広場
- ホンモノ・一流・スペシャル・誇れる・（摂津を）
- 中途半端はいらぬ。ホンモノの集まるまち（施設・人・店も…）
- 広い年代の人が図書館を利用する。ぶらり立ち寄れる様な場があれば
- 他文化交流
- 「様々な文化を．．．」他でもできるものをここでする必要があるのか ⇒他ではできない文化を．．． ⇒ある一定の規模の文化を．．．
- 既存の図書館を充実しコミュニティ施設の中に貸し出し返却が出来る機能をおく
- 市民が不用になった本を持ちより、必要な人が自由に持ち帰れるブックボックスを置く→管理とルールづくり必要
- コミュニティプラザの1階部分をオープンスペースにして外部の緑の植わった広場とつながった感じで活用できると良い。談話スペース、利用し易いトイレ、給湯施設など（ミニコンサート等にも活用）
- 市内の農家で作っている野菜などを積極的に活用し、軽食や昼食の食材にする。それをキャッチセールスとする。
- 全市の人が集まってこれるような魅力的な施設が必要です。企画の充実。市民の運営への参加。定期的な催し物の実施。
- 玄関やロビースペースでコンサートが出来るとか、休みの日に朝市や植木市やフリーマーケットが出来るとか様な小スペース
- どの図書館でどの本が借りられるか調べる事が出来る検索機を置く
- 1F：文化ホール・医療施設 2F：教育施設・図書館 3F：市民交流ホール 4F：プラネタリウム
- 資料展示室を遺物の保管場所が無いのでこの際スペースの確保を。
- パーティールーム飲食ができる。
- デザイン、色彩に摂津らしい表現力ある構造物を。
- わが街摂津に対する興味と愛着が自然と芽生える様な仕組みをつくる。
- 図書館は駅前に誘致してほしい。
- 幼児のための定期的な音楽会を開催する
- 駅前は芝生広場→強烈な印象→帰属意識→わが街→自慢できる→愛着

・世代を超えて交流ができるふれあいのあるまちにしよう

子どもからお年寄りまでいろいろな世代の人が気軽に交流ができるふれあいの場を設け、ふれあいの中からお互いに支え・学びあえる、そして人のつながりが広がるまちをつくりましょう。

(例えば)

- ・ お茶を飲んだり、休憩、井戸端会議ができる空間を随所につくる
 - ・ 少人数で集まって歓談できる空間を用意する
 - ・ 世代間交流のイベントが催せる広場をつくる
 - ・ 子育て支援のための施設をつくる
 - ・ 子どもの遊び場や高齢者の集いの場を用意する
-
- 駅前であることの利を生かして、市民に限らず市外の人とも交流できるセンター的役割を持った施設
 - たくさんの人が集まり、飲食をしたり音楽を楽しんだり、気楽なパーティを楽しむ
 - 老人や障害者の人達が集まってカラオケや食事ができる広い会場
 - 老人がおしゃべりをして過ごせる場所
 - 戸外で自由に集まり話し合える場をつくる
 - あったらいいなという施設を（図書館）個別に作るのではなく有機的な連携を作ることが最も大切。多様な世代が集まり交流が生まれる為には各施設をハコとして作るのではなくどう使われどのように人が流れてくるのかを熟慮する必要があると思います。
 - 本を読んだり、イベント等の情報を得たり交流（おしゃべり）等、集いくつろげる場
 - 明るくほっとする広場
 - 市民参画の喫茶コーナー
 - 引越してこられたり、小さな子供さんを連れていらっしゃる方の子育てや悩みの相談が出来る場所。簡易の託児所を設置し、母親は子育ての勉強や互いに悩みを話し合ったり出来る場所
 - 子供からお年よりまで集まりやすいコミュニティセンターを作ってほしい
 - 他交流（世代）
 - 世代を超えて交流できる⇒本当に交流するのか？⇒集える
 - 既存の図書館を充実しコミュニティ施設の中に貸し出し返却が出来る機能をおく
 - 市内の農家で作っている野菜などを積極的に活用し、軽食や昼食の食材にする。それをキャッチセールスとする。
 - 全市の人が集まってこれるような魅力的な施設が必要です。企画の充実。市民の運営への参加。定期的な催し物の実施。
 - いろんな世代の方が触れ合える様ないろんなロビーや広場
 - 核家族化が進む昨今、いろんな世代の人の意見が聞ける交流の場所を設けて、気軽に活動ができる所をつくりましょう。
 - すべての人が交流できる施設や場所、例えば、スポーツセンター。
 - パーティールーム飲食ができる。

・目的に合った情報を受発信できる仕掛けをつくろう

情報社会の進展のなか、さまざまな情報があふれていますが、自分にふさわしい情報を見つけることは容易ではありません。そこで、このまちに来れば地域の情報を手に入れることができる、また、自分が発したい情報を地域の人に発信できる、そんな仕掛けをつくっていきましょう。

(例えば)

- ・ コミュニティ放送局をつくる
 - ・ 広場や歩道に面して、コミュニティ掲示板をつくる
 - ・ 施設の玄関ホールにチラシが置けるスタンドや情報検索端末を設置する
 - ・ ガラス張りにすることで室内の活動を見ることができるよう工夫する
-
- 地域に密着した情報の受発信
 - 訪れることにより、自分の希望する、目的にあった情報の得られる場。情報センター。
 - 情報発信のできるスペース、掲示板や作品展示、活動発表のできる場。
 - 文化ホール・ギャラリー等イベントの情報・駐車場の空き情報・市からのお知らせ
 - 地元放送局
 - コミュニティセンターだよりをNPOにまかせてほしい。
 - 摂津市の情報を検索出来る様なミニコミ誌とかを置くスペース
 - 市の広報室（分室）を設置する

・ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりをしよう

誰もが不自由を感じることなく、安心して安全に暮らせるようにするため、施設のバリアフリー化をはじめ、ユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりをしましょう。

※ユニバーサルデザイン・・・すべての人が利用できる施設・製品等の設計(デザイン)

(例えば)

- ・ 誰もが楽に通行することができるように歩道の有効幅員を確保する
 - ・ 視覚障がい者誘導用のブロックや信号機等を整備する
 - ・ 休憩ができるベンチを設置する
 - ・ 施設にエレベーターやエスカレーターを設置する
-
- 高齢者やベビーカーでも歩ける安全な道に
 - 駅前広場と駅についてバリアフリー化。
 - スタジオ・ホール・ダンス・ユニバーサルデザイン（お年より）
 - ユニバーサルデザイン 車イスやバギーで通ることができる段差のない歩道をつくる
 - バリアフリーを広範囲で整備できないか
 - ユニバーサルデザインを考えてつくる
 - 車イスが自由に出入りできるまち
 - 車椅子や双子の乳母車もいきちがえる、十分に中広の歩道を
 - 障がい者が利用しやすい段差のない道路であるか（バリアフリー）
 - 段差のない、車椅子でも行けるまちに！
 - 駐輪場の拡充を。「自転車が通り易い街づくり」も [福祉] [安全・安心]に含まれる
 - 道路の形：①段差なし②ゆるやかな傾斜を付けてもOK③階段はなし④雨水のはけ口溝を付けて
 - 電柱なし。歩道へ入るときの斜めのカーブなし
 - 電柱を地中に埋めて下さい。
 - バリアフリー重点に当初から考慮、配慮して欲しい
 - 福祉。誰もが歩く事が苦にならない歩道づくり
 - 福祉目標。誰もが歩く事が楽しくなる街
 - 若し既存路線を使い文化センターから100m歩くとすれば、利便性に欠けるし、雨の日や高齢者にとっては苦痛だ。
 - 誰でも楽に移動できるまちにしよう。 例えば 段差のない道路。昇降出来る設備。休憩できる設備。屋根のある歩道をつくる。
 - エレベーター・身障トイレ・授乳室・フラットな建物
 - 最近の施設では使われないスロープ、不要と思うエスカレーターがあって、必要なエレベーター、使いやすいトイレ、ごみ箱のない事が気になります
 - 移動円滑化基準に適した空間を配慮した駅前広場、福祉総合施設を
 - オムツ交換のできるトイレは男性用にも
 - ハンディのある人も安全に、安心して、能動的に暮せる街にしよう。
 - まちの中には様々なハンディを持った人々が共生しています。また、ハンディの種類や程度も多種多様です。しかし、どんなハンディを持っていようとも、全ての人が安全に安心して自己実現できる街づくりをしましょう。
 - 積極的に街に繰り出すことが出来るようなユニバーサルデザインな街の整備（ハード）

- 高齢者に対して信号機の秒数が1～2秒長くなることによって、高齢者が渡りきれぬ。

・高齢者や障がい者が生き生きと安心して暮らせるまちにしよう

高齢者、障がい者も自己の意思と能力に基づいて平等に社会に参加でき、地域の中で安心して暮らすことができるような仕組みをまちの中に組み込んでいきましょう。

(例えば)

- ・ 福祉の相談窓口を設置する
- ・ 高齢者や障がい者も気楽に集い語りあえる場をつくる
- ・ 障がい者の雇用を促進したり、グループホームをつくるなど、自立支援のための仕組みをつくる
- ・ ボランティア活動や地域福祉活動の拠点を整備する
 - 高齢者・学童・児童一体の施設と広場
 - 商業施設との関連をもたせて福祉関係の施設や障がい者の働ける場所など作ってほしい
 - 高齢者・障がい者・介護・医療等のあらゆる相談を受けられる包括的な窓口
 - 障がい者施設の授産製品を紹介・販売できるスペースを作る
 - 喫茶店又は食堂・売店を作り、高齢者や障がい者を雇用する
 - 障がい者の交流出来る施設を考えに入れる
 - 障がい者・高齢者が集うことの出来る雰囲気ある空間があれば
 - 福祉相談員を配置
 - 福祉のまちせつを再現する為に関西にアピールできる施設を
 - 多種多様なハンディについての学習の場を設け、お互いの理解を深める仕組みを作る
 - 積極的に街に繰り出すことが出来るようなコミュニティの作成、人的支援（ソフト）
 - 老人サロン、グループホーム
 - 介護サービスの相談窓口。障がい者の作業所。
 - 介護施設ケアセンターの窓口→保険センター。家の事をする時の相談窓口
 - ハンディを少しでも克服する為のトレーニングプログラム、教育等の充実（手を差し伸べるだけでなく出来るだけ自立を促す）

・安心して子育てができるまちの環境を整えよう

近隣との人間関係の希薄化や核家族化の進行によって、子育ての孤立化が進んでいます。子育て中の親が抱える不安や負担を軽減し、子どもが健全に成長していける環境の整備を進めたり、子育て支援の仕組みをまちの中に組み込んでいきましょう。

(例えば)

- ・ 子どもが安全に安心して遊べる場所を整備する
- ・ 託児所を設置する
- ・ 子育てについて話せる場を設ける
- ・ 子どもが参加できる地域の行事や講座を行う
- ・ 子どもと高齢者が交流できる場を設ける
 - 高齢者・学童・児童一体の施設と広場

- 子どもの遊び場をつくれ！
- 子どもをつれて使いやすい施設にするため幼児から小学生が自由に安全に遊べる施設を併設する。
- 子育ての悩みを相談できる場所。
- 核家族化が進む昨今、いろんな世代の人の意見が聞ける交流の場所を設けて、気軽に活動ができる所をつくりましょう。
- 出生率を上げる方向。幼児教育→託児所
- 託児所がない⇒つくって欲しい※24時間開放している
- 母子家庭。女性が働く社会
- 赤ちゃんポスト
- 子どもたちが安心して育つまちづくり
- 夕方や深夜にも対応してくれる託児所

健康・医療／すべてのひとが健康で明るく快適に暮らせるまち

・ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組めるまちにしよう

健康づくりの基本は「自分の健康は自分でつくる」ことです。ひとりひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりを実践できるよう、地域における健康づくりの場や機会を支援できる仕組みをまちの中に組み込んでいきましょう。

(例えば)

- ・ ラジオ体操や太極拳ができる広場、ウォーキングができる散策路などをつくる
 - ・ 気軽に使える体育施設を整備する
 - ・ 生活習慣病をテーマにした健康教室を開く
 - ・ 健康についての相談窓口を設置する
-
- 市民プール等
 - スタジオ・ホール・ダンス・ユニバーサルデザイン（お年より）
 - ダンス・演奏・朗読⇒自己実現＋つどいあい。温浴・プール・エアロビ・体育⇒健康（長生き）
 - 今、現在の体育館は有料。・対戦の出来ない所ばかり。「対戦の出来る体育館」
 - 安いジム。予防医療を進める設備をつくる
 - 体育設備をつくる
 - 味生体育館のようなジムがほしい。
 - 健康で元気な街づくり。
 - 生涯、健康で積極的に人生を過ごせる街にしよう。
 - 単に長生きするだけでなく、最後まで精神的にも肉体的にも健康体でいられることが大切です。楽しみながら健康を維持・増進できる施設や仕組みをまちづくりに組み込んでいきましょう
 - 誰もが気軽に利用できるスポーツ施設を作る
 - 誰もが気軽に利用できるサークルのしくみを作る
 - 予防医療を積極的に取り入れる
 - 誰もが気軽に利用できるスポーツ大会を催す
 - 健康に対する知識・認識を高められる教育的機関を設け「健康指導トレーナー」を養成。ここで育った多くの指導者が市民の健康増進の指導をして市民全体の健康レベルを飛躍的にレベルアップさせる→医療費の低減に寄与
 - 未病・予防医療を積極的に
 - 体を健康的に動かせる環境、学生ボランティア教育
 - 予防医学。無農薬。家庭菜園。屋上緑化。
 - 太極拳サークル
 - 健康コンサル相談窓口⇔運動のアドバイスを→病院のネットワーク（阪大病院など）⇔相談窓口を駅前に
 - 健康第一・いい空気・水・樹・噴水

・医療体制の充実したまちづくりをしよう

高齢社会が進展する中で、医療や保健に対する需要が年々拡大しています。少子・高齢社会に対応できるよう医療のネットワークを強化し、子どもから高齢者までが健やかに安心して暮らすことのできるまちにしましょう。

(例えば)

- ・ 保健センターを充実させる
 - ・ リハビリ施設を設置する
 - ・ 介護の相談窓口を設置する
 - ・ 普通救命講習会に参加し、救命技能を身につける
-
- 病院とかもあればよい
 - 総合病院が欲しい
 - 市民病院の建設を希望します。
 - 産婦人科（高度医療病院）
 - 24時間診療所
 - 少子化予防の為、産婦人科医、小児科医療
 - 駅前に福祉会館と保健センター、文化ホールも含めた総合的な建物。
 - 保険センター、休日診療所
 - 医療ネットワーク化保険センターから発信自宅からテレビ電話等を使って自宅で治療を受ける事が出来るようにする
 - 大学病院と市内医療とのITを活用した病診連携体制作り
 - 救急救命センターを市内の一番便利なところに
 - 市民病院（救急医療施設）小児科以外も
 - 中途障害者などの病院と違う、リハビリ施設の拠点的なスペース
 - リハビリ用のopenなプールを
 - 充実した医療機関の為医師会との連携したクリニックを
 - リハビリセンター・介護施設
 - 摂津市内に少ない科の医療機関を誘致する（C）

・水と緑を大切にしたいうるおいとゆとりのあるまちにしよう

都市化が進むにつれて、まちなかの自然が失われつつあります。まちにうるおいを与え、私たちにゆとりとやすらぎをもたらしてくれる水辺や緑の豊かな美しいまちにしましょう。

(例えば)

- ・ 道路や施設の境界部分を緑化する
 - ・ 水辺と緑を結ぶ遊歩道をつくる
 - ・ 植樹やガーデニングで玄関先や窓ぎわを草花で飾る
 - ・ 子どもたちが水と戯れることのできる場所をつくる
 - ・ 四季が感じられる樹木や草花を植える
-
- 自然との共生。自然と楽しめる空間
 - 自然とふれあえるような森にする
 - 川沿いに人がたまれるような公園がほしい
 - 川の上にみどりの散歩道をつくる
 - 桜通り、街路樹
 - 駅前には木や花壇等緑がほしい
 - 駅前を緑ゆたかな公園にしてほしい
 - 建物と公園が混在するようなまちにする
 - せっかくの町づくりです。公園を大きくとって下さい。
 - 緑を多くする事
 - 広場→植樹を多く植えて下さい。
 - 水や緑を取り入れた豊かな自然環境を造って欲しい。
 - ビルの上に緑花事業をする
 - 車道と歩道を分け、その間に植樹する
 - 緑のない摂津市の1つの緑の拠点になるところに
 - 緑と花の多いくつろげるまち
 - 緑のネットワーク、自転車
 - 森のある街（緑）
 - ハーブのあるまち
 - 市の木、花、くすのき、つつじ名通り。くすのき通り
 - 緑化が10%で良いのか？
 - 国との協議で難しいと聞きましたが境川のフタをしてほしい。緑の空間となるように…
 - 親水空間として、整備してほしい
 - 現在水がほとんど無いので境川にフタをして歩道とする
 - 計画地に同じ植物を植えない
 - 植える木は常緑樹にする
 - 花作りネットワークを作り維持・管理できる市民を作る
 - 公開空地を設けてほしい
 - 人にやさしく人が楽しめる美しい町をつくろう
 - 香りのある町、香りのある公園、香りの楽しめる町
 - 市民が環境に愛着の持てる町をつくろう
 - 市民参加で植樹。市民が選んだ樹木を自分達も参加して植える。

- 自分も参加して名前の表示のある桜をたくさん植え、その下で花見が（自分の木の下で）出来る。
- 緑の中心として境川を活用した長い長い緑のベルトをつくる
- 環境を学べるまちづくりと緑豊かなまち．．．境川付近に桜とか紫陽花など季節の花や木を楽しみ散歩などが出来る遊歩道をつくる。
- 自然とふれあえる川と木の街をつくる
- 駅前を特徴のある雰囲気の間を指そう
- 視界空間を大切に、静かな緑をメインにした空間のあるまちづくり
- 四季を感じられる街
- 市民公募参加で周辺のガーデニングはまかせてしまう(緑豊かな町) 障害者団体やNPOなど中心(緑化推進)
- 森造り(市の木クスノキなど高木を中心とした森) 森の中に各施設空間が位置する設計
- 緑化率25%を活かした四阿(あづまや)のようなまちづくり
- 緑と花と水があふれる自然空間の中に建物が点在する様な街にしよう
- 街全体をまず緑あふれる自然空間として、その中に建物を置いていくという様な発想で街をつくる
- 阪急駅を緑のアーチの中を電車が通る様にする。
- 緑のアーチのトンネルを抜けると駅・屋上緑化
- マイナスイオンの滝
- 釣堀・森を造ってから(育ってから)建物をつくる
- まず森を造る。阪急は木のトンネルを抜ける

・景観の整った美しいまちにしよう

美しいまちなみは都市のイメージを高め、人々の意識や感覚を豊かにしうるおいを与えてくれます。景観に配慮した施設を配置し、緑化を推進し緑豊かで調和のとれた景観形成を図りましょう。また、自主的な清掃・美化活動によって美しいまちなみを維持していきましょう。

(例えば)

- ・ 周辺景観に配慮した建築物をつくる
 - ・ 自然や建築物でランドマークをつくる
 - ・ みちごとに街路樹を決める
 - ・ 清掃・美化活動に積極的に参加する
 - ・ 素材や色彩に配慮し周辺との調和を図る
- 電柱なし。歩道へ入るときの斜めのカーブなし
 - 電柱を地中に埋めて下さい。
 - 景観を考えて造って欲しい。
 - 最上階を市民に開放してほしい
 - 駅前広場をもう少し広くしてほしい
 - 市の木、花、くすのき、つつじ名通り。くすのき通り
 - 駅前近くや道路沿いの照明を明るく道路沿いをセンスの良いものを考えて欲しい。
 - タワー的な複合ビル
 - ランドマーク
 - マンションは10階建て位の高さにしてほしい
 - 駅舎の形は、防音・景観を十分に考えたものにする
 - 計画地に同じ植物を植えない

- 常緑樹は木を統一し、景観に配慮する常緑樹
- 緑地は各事業所にまかせるのではなく桜に決めて流れ（並木）を作る
- 明るく開放的な空間と自然との共生を考えたまちづくり。いろいろな植物を植えてランドマーク・森
- キャッチフレーズ秩序だてた環境によるまち
- 高さにメリハリをつける計画。←ランドマークとしての高層のものと森になるための低層のものが共にある。
- いろいろな植物を植えてランドマーク・森
- 人にやさしく人が楽しめる美しい町をつくろう
- 道路（歩道も）に楽しいデザインにする。
- 駅前の喫煙も禁止
- 若者の集えるデートスポット等目印となる環境をつくる。
- 景観に配慮した施設。緑化施設や屋外空間に十分な自然を取り入れたデザイン

・資源の有効活用に取り組む環境に優しいまちにしよう

地球環境は急激なスピードで悪化しています。ごみの減量化やリサイクルに対する意識を高めるとともに自然エネルギーの活用や省エネルギー技術を採用し、環境負荷を減らす取り組みを行っていきましょう。

（例えば）

- ・ 中水道やリサイクルシステムを活用する
- ・ 太陽光の利用を図る
- ・ ヒートポンプやコジェネレーションシステムなど効率の良いシステムを使う。
- ・ 環境負荷の低減をテーマにした教室を開く

※中水道・・・生活排水や産業排水を処理して循環利用するものを指す。雑用水とも呼ばれる。その用途は具体的には水洗トイレの用水、公園の噴水など人体と直接接しない目的や場所で用いられる

※ヒートポンプ・・・熱を圧縮機(コンプレッサ)を利用して効率よくみあげ、移動させることにより冷却や加熱を行うシステムで、消費電力の3～6倍の熱エネルギーを得ることができるエネルギー効率の高いシステム

※コジェネレーションシステム・・・発電時に発生する排熱を利用して冷暖房・給湯等の熱に利用するエネルギー効率を高めるシステム

- 公共施設にソーラー等（太陽光）を取りつけ摂津でエネルギーを作り、循環型社会に
- 地域の動力源は太陽光発電とする。
- 環境を考えた・・・（例えば） ○雨水を利用した設備を考える
- 市民参加で環境を守るための管理システムをつくる。
- エコ住宅の建設をすすめる、町づくり
- 落葉も集めて楽しめる企画、落葉を集めて堆肥づくりも（循環）
- 自然エネルギーを利用した目に見える形で街をつくる
- 自然環境エネルギー施設を駅前広場に取り入れる。
- 太陽光発電システムを導入する。太陽光を生かしたまちづくり。
- ソーラーシステムなど太陽光電力を活用した摂津のP. R. の場とする
- 目に見える環境の良し悪しが判るNOx（排ガス）観測の場とする
- 環境に対する理解を深め、環境を大切に守る心を育む街にしよう
- 昔の日本人。循環させる生き方を取り戻す。知恵を持った人が増えれば自然体
- 環境負荷の少ないエコロジカルな循環型の街づくりをしよう

- 太陽光利用
- 雨水利用（中水）
- 環境型社会を体験出来る街づくり
- ゴミ削減
- 省エネ家電の普及
- 打ち水イベント
- キャンドルナイトイベント

・生態系に配慮し、様々な生き物が暮らせるまちにしよう

多様な生き物が生息するためには、それぞれの生き物が一生を通じて生息できる環境が必要です。様々な生き物の生息環境を考慮し、確保できるよう工夫することによって、人と生き物が共生できるまちをつくりましょう。

（例えば）

- ・ 多様な生物が生息できる場所(ビオトープ)をつくる
 - ・ 生き物のえさとなる実のなる木を植える
 - ・ 多孔質の材料を用いる
 - ・ 生態系のバランスを保つため農薬や除草剤を使わない
 - ・ 多様な生き物や市内にある自然を観察・勉強できるしくみや機会をつくる
-
- 明るく開放的な空間と自然との共生を考えたまちづくり。
 - ビオトープを作りいつでも誰でも自然観察ができるまち
 - 駅前にメイン的物をつくり自然との共生
 - 昔の自然を自然に学べる環境のある街づくり
 - 自然と自然に学べる環境を提供できる街
 - ビオトープ的な空間をつくる
 - できればビオトープコリドールに発展させたい
コリドール・・・回廊
 - ビオトープのネットワークコリドール。
 - ホタルのいる街にする

安全・安心／安全で安心できるまち

・安心して歩くことができるまちにしよう

まちを歩く時、自動車と比較して歩行者は弱い立場にあると言えます。すべての人が安全に安心してまちを歩くことができるように、歩行者の安全に十分に配慮し、歩行者と自動車が共存できる道路づくりをしましょう。また、みんなでマナーを守り、放置自転車や違法駐車をなくしましょう。

(例えば)

- ・ 歩道と自転車道と車道を分離させる
- ・ 段差や階段のない広くて通しやすい歩道をつくる
- ・ 水がたまりにくい透水性舗装を採用する
- ・ イメージハンプを設ける

※イメージハンプ・・・路面に物理的な凹凸をつけず、舗装の色や素材を変えて、運転者の注意を引いて心理的な効果を狙い運転者にスピードの低下を促す。

- 通学路・坪井の踏切キケン
- 坪井ふみ切りの安全確保 ◎歩道の拡幅 ◎地下道が可能な この踏み切りは自動車がいきちがうと自転車も通れない
- 踏切付近の安全対策は第一に！（通学路でもある…）
- 歩道の中に自転車専用道
- 渋滞の時の抜け道になって危険！（区画道路2号線）
- 高齢者やベビーカーでも歩ける安全な道に
- 道路の巾：（車道・自転車専用道・歩道）3区分して下さい
- 道路の形：①段差なし②ゆるやかな傾斜を付けてもOK③階段はなし④雨水のはけ口溝を付けて
- 道路の位置：2号線に歩道を、片側に作ること
- 境川歩道のガード下を広く通りやすく街灯も！
- スクランプル交差点にする
- 道路幅を広くする
- 通学路とのぶつかりが避けられないので安全上、車道はもうけるべきではない。（区画道路2号線）
- 通学路に出るためこの位置に信号をつけること（区画道路2号線と千里丘・南千里丘線の交差点部）
- 交通の安全保障・音響信号・エスコートゾーン
- 歩道・自転車道・車道と別々にしたい
- 境川交差点横、歩道を整備する。ガランドポンプ置場へ行く道
- 駅ホーム下、区画道路1号線を延長する地下道は歩道だけ
- 駅新設により駅両端の踏切（坪井踏切・千里丘・三島踏切）の遮断時間がのびて長くなる。この対策はどうなるのか
- 駐輪場の拡充を。「自転車が通り易い街づくり」も[福祉][安全・安心]に含まれる
- できれば自転車道の整備を（端地でも工夫すれば設けられる）歩道に植樹するのはいいが、枝打ちはきちんとしてほしい
- 将来的に阪急の高架駅に移行し易いように南北通路の整備を
- 利便性。ここに来れば摂津の事がわかるようにする南北通路を作る。踏切安全対策
- 自転車専用道路（レーン）のついた道路をつくる。

- {歩行者・自転車・車} 3分割
- 駐輪場の充実を。交通手段
- 周辺を明るくする。駅周辺、交差点、歩行者と自転車の通行の調和
- まず阪急電鉄の安全対策第1に！
- 沢山の人が移動する場所ですのでAED（自動体外式除細動器）の設置をして下さい。人目につく場所で尚且つ大きく表示して下さい。※10分以内に使用しなければ生命の危機にさらされるという事です。
- 境川横地下道を広げて自転車や人が安心して通行出来るようにする。
- 自転車に乗る人のモラルの低下により多発する事故を防ぐため、自転車の安全教室を強化する。
- 歩行者道と自転車道を色分けする。
- 自転車の安全教室の強化
- 緑地同様で（歩道）道路の照明で流れを作る
- 車イスがどこからでも通れる様に段差を無くす
- 歩きながらのタバコ禁止
- タバコの吸飲場所を設置する
- 駅地下道と合わせて南北人道を作りコミュニティセンターに通りやすい様にしよう
- 人道地下道をつくり安心して鉄道をくぐるまちづくり（坪井踏切道）
- 坪井踏切、通学の安全性確保、新しく地下道
- 踏切、十分な巾のある歩行者専用道の確保。自転車も利用可。地下スロープ。
- 通学路、坪井の地域の安全をどうするか
- 駅中央ホーム下に地下道又は高架道を作る
- 車道、自転車道と歩行者用道路を分け安心して歩けるまちづくり
- 自動車進入禁止地区を作る
- 一方通行の徹底
- 境川にフタをして自転車道、歩道にする。又は自転車置場にする
- 境川の有効利用・緑化・駐輪所
- 立体駐輪所、昇降の補助リフト
- コミュニティプラザの駐輪場。駐車場を地下に、広場には自転車を置かない
- 安全のためには、周辺への影響についても充分配慮することが大切（坪井踏切の安全確保）

(C)

・犯罪のない安全なまちにしよう

建物や道路などの設計を工夫することで機能性や快適性を損なうことなく防犯性を高めることができます。また家庭や地域、関係機関と連帯・協力し、防犯意識を強化して、犯罪が発生しにくい環境づくりをしましょう。

(例えば)

- ・ 建物や植栽を工夫し、死角をなくす
 - ・ 街路灯を適切に設置し、夜間の明るさを確保する
 - ・ 玄関灯(門灯)や窓の明かりなどを利用してまちを明るくする
 - ・ 地域で防犯パトロールを実施する
- 駅前近くや道路沿いの照明を明るく道路沿いをセンスの良いものと考えて欲しい。
 - 安全・安心で住めるというのは、道路整備だけの問題ではない。犯罪をおこさない環境を整えることが大切である。
 - 駅周辺に街灯を沢山つけて明るい街にする
 - 摂津市駅周りの照明（街灯）を沢山つけて安全で明るい街にする

- 摂津市駅の照明を生かした（安全を考えた）駅の特徴に
- 坪井の踏切の近くに交番（踏切通行者、車の見守り）
- 防犯カメラ、駅前
- 監視カメラの設置。犯罪を防ぐ
- 駅前交番所を作る
- 駅前や近くの道路を明るくして犯罪の起らないまちづくり

・災害に対する備えが十分なまちにしよう

地震や風水害などの自然災害、火災・爆発などの人為災害が発生した時、できるだけ被害を小さくすることが重要です。耐震性・耐火性の強化や個々の防災意識を高めることにより、公民が連携して災害に強いまちづくりをしましょう。

（例えば）

- ・ 耐震構造・免震構造を取り入れる
 - ・ 耐火性能の高い材料を採用する
 - ・ 防火効果の高い樹種を植え、配置パターンによる遮断効果を図る
 - ・ 災害対応能力を高めるための教室を開く
- 災害時の安全対策を計る
 - 事故時の安全確保も計る
 - コミュニティプラザを避難所にする。そのために水などを確保する
 - 雨水を貯める貯水タンクをつくる
 - 災害に強い建物。防災マップなどを作り安心したまち
 - 防災マップ・火災・水確保・トイレ

利便性／市内外からの人々が交流でき楽しく活気のあるまち

・いろいろな交通手段が選択できるまちにしよう

このまちを訪れる人は徒歩・自転車・自動車・バス・電車などさまざまな交通手段で訪れます。どのような手段でも来やすく、快適に移動できるように工夫しましょう。また、乗り換えが便利にできるように配慮しましょう。

(例えば)

- ・ 駅前に駐車場や駐輪場を設置する
 - ・ 路線バスを運行させる
 - ・ 歩行者空間のネットワークをつくる
 - ・ 交通機関の乗り継ぎを良くする
- 千里丘・正雀・鳥飼をつなぐ拠点(交通・情報)
 - 市内循環バス(小さいバスでもOK)バス停が駅前にほしい
 - 三島幼稚園のバス停をズラして、駅付近に移動できないか
 - フェアライドシステム。駅と駐車場を一体化して通勤用の車を利用し易い駅にしてはどうですか?山陽・阪神・地下鉄はいくつか実施しています。
 - 商業施設の駐車場出入口に工夫しないと、... 駅への進入道とかぶる(渋滞)
 - 駐車場から駅施設までは雨天時も濡れずにいけるようにして欲しい(地下設置も含めて)
 - 駐輪場の拡充を。「自転車が通り易い街づくり」も[福祉][安全・安心]に含まれる
 - コミュニティバス(現状のもの)が使えない。使えるものにして...
 - 将来的にせよ。交通アクセスを考えないと、駅が寂しいと思う。賑わっている駅はバスがある。
 - 駅中心の交通アクセスを考えよ。
 - 南千里丘までのアクセス確保
 - 無料の駐輪場・駐車場料金入り
 - 駐輪場の保有台数は、JR千里丘駅より多くして下さい
 - 駐輪場や駐車場は十分に設置されるのか?駅前にたくさん自転車・車があふれると、とても迷惑だと思ふ。
 - 駐車場がない(現、車社会である)
 - 境川にフタをする駐車場を造る
 - 境川の上を駐輪場にする
 - 人が交流する街にするには交流アクセスを考えて駅前乗入れ希望
 - 将来的に阪急の高架駅に移行し易いように南北通路の整備を
 - 利便性。南北通路を作る。踏切安全対策。
 - 電車乗る人が駅前にバスが乗り入れてこそ利便性あり
 - コミュニティバスのアクセスを細かく回れるような路線を確保する
 - 若し既成路線を使い文化センターから100m歩くとすれば、利便性に欠けるし、雨の日や高齢者にとっては苦痛だ。乗入れ希望
 - 将来、操作用後の事も考え第二期、第三期に向けて(高架e t c)計画を。
 - 自転車専用道路(レーン)のついた道路をつくる。
 - {歩行者・自転車・車}3分割
 - 阪急電車急行等が停車できないか? ※準急でもうれしい!
 - 駅から直通でショッピングモールに入れる通路が出来たら
 - 非常に難しい事だと思いますが新駅とJR千里丘を結ぶ高架道を造れたら
 - 子供から高齢者までの利用しやすい施設を造る。屋根のある通路。上り下りの少ない通路。

- 歩いて買物ができる道路の利便性
- 人と車の利便性。施設への出入がスムーズに出来る通路・道の計画と施設の平面化（上り下りの少ないもの）
- 気軽に休めるスペースなどの工夫を．．．（歩行者への利便性）
- 雨の日でも不自由しない工夫を。施設内部も通路にするなど．．．（歩行者への利便性）
- 買物などの利便性を考え、鳥飼地域や別府方面からも来やすい市内循環バス、アクセスの確保。
- 阪急摂津市駅は準急でも良いから止まるようにして
- アクセスの利便性。休みの日に集まる工夫を．．．（施設を）
- 摂津市内の東西南北の地域、公共施設に行ける手段のあるまち
- 交通機関の利便性。他の交通機関（JR、モノレール）とのアクセスあるまちづくり（シャトルバスの活用）
- 公共交通の利便性
- ここから市内の公共施設へ行くバス（コミュニティバス）があるという利便性
- アクセスの集中化への工夫を．．．（交通の利便性）
- 車と自転車と人とのはっきりと区別する工夫を．．．（交通の利便性）

・長時間楽しく快適に過ごせるまちにしよう

会合のあと買い物をして帰る、ホールで劇を観たあと友人たちとお茶を飲んで感想を述べ合うなど複数の目的を組み合わせて利用でき、ついでにと寄り道をしたくなる様な、長い時間快適に滞在できるまちにしましょう。

（例えば）

- ・ さまざまな公共施設、商業施設を立地させる
 - ・ ホットと一息つける場所を設ける
 - ・ 家族で楽しめる施設を設ける
 - ・ さまざまな施設がコンパクトに集まる
- 交流できる場
 - 高齢者・学童・児童一体の施設と広場
 - 住宅と市民（子ども・高齢者）の場と一緒にしたものをつくってほしい
 - ターミナルではなく駅前広場（例えば農業祭などできる）集える場所がほしい
 - 駅前広場の空間で楽しめるように！
 - 市民活動スペースの確保
 - 計画の前に定住への施設を→市民活動
 - フリースペースの確保
 - 200人規模の会議場
 - 駅舎に電光案内
 - 吹田のメイシアターのような多目的ホール集会場など集中会議場をいろいろな大ききで作る
 - フリースペースを作って誰でも休憩（・ベンチ・自販機・情報板・掲示板）→世代交流
 - 駅前道路に市民経営の商店街をつくり突き当たりにスーパーマーケットを
 - ショップ・カラオケ・ステキな店
 - おしゃれな喫茶・レストラン(飲食店)
 - お好み焼き・ビール
 - 現状では買い物に行く中心の商業施設が無い為、他市へ流れてしまっている。
 - インターネットカフェ
 - 駅前から心おどるまちづくり

- イベント広場から世界へハバタク人造り
- 子供から大人までがたのしみ集いコミュニケーションが取れる場所造り
- レストラン、喫茶など楽しく食事ができ集まってお茶を楽しむちょっとした、会合のできる場所
- 軽くお酒を飲みながら楽しくお喋りを楽しめる場所が欲しい
- 屋上にビアガーデン。夕涼みをしながら皆でお喋りを楽しめる場所が欲しい。
- 気楽に買い物ができるまち、このまちに買い物に来れば何でもそろそろ。楽しみながら集まって会話ができるまち
- 世代をこえてやりたいことができるコミュニティ（コミュニティの利便性）
- コミュニティセンターに行ったら、知りたいことがすぐに解決できる利便性
- ふらっと寄っても会議ができる場所があるという利便性
- 大きなイベントホールを造り、大小に区分できるようにする（イベントなどの利便性）
- 例えば数10年先を見据えた構造を持つ建物。・環境配慮・使い勝手の良さ・市民サイドに立つ
- 摂津市の情報拠点（防災マップなども．．．）
- 市役所の手続きがすべて出きる拠点のまち（中継点）
- 市民への広報、市民からの声の発信拠点となるまちづくり（情報の利便性）
- 情報入手する為の利便性⇒情報案内人（場所）の設置（情報の利便性）

・わざわざ来たくなる魅力のあるまちにしよう

どこにでもある施設ではなく、キラッと光る魅力的な施設や空間、あるいは商品などをつくり、遠くからでもわざわざ来たくなるような個性的で魅力のあるまちにして訪れる人をもてなしましょう。

（例えば）

- ・ 個性的な商店や飲食店が集まる
 - ・ 新たな特産品をつくり、育てる
 - ・ カフェテラスやオープンカフェをつくる
 - ・ デザインや機能において特徴のある施設をつくる
- 皆が集える街にする。例えば祭りが出来るまちにする。
 - イベント広場
 - 皆さんが降りたくなる駅前づくり
 - 人をどう集めるのか
 - 利便性。ここに来れば摂津の事がわかるようにする
 - 市民交流広場の整備。イベントの開催・フリーマーケット
 - 商圈力のある施設
 - 大型ショッピングセンター導入。
 - 駅前ビルは高い方がよい。10階～20階建て。上階はレストラン。
 - 交通科学館を作れば子連れの客が見込めるのでは？
 - 他府県から立ち寄って頂けるまち
 - 明るく沢山の人が集えるまち。フリーマーケットや地場産業で道の駅のような形で販売が出来る設備が欲しい。
 - コミュニティセンターが他市にない特徴を持っているので遠くの市からも視察に来ようという気持ちにさせること
 - 市外の人に来てここで降りればどこへどのような方法でいけるのかすぐにわかる利便性
 - 他市からも集える利便性のまち摂津

- アニバーサリー、パーティー、ランチ、ディナー、ウェディングなど色々なシーンに利用できるおしゃれな空間やホール（D）

・ほどほど社会を実現しよう

便利になりすぎ欲望のまま生活すること、人まかせ機械頼りになることが社会をおかしくしているのではないだろうか。人を思うことで我慢を覚える、そんな『ほどほど』の便利さを享受できるまちをめざしましょう。

（例えば）

- ・ 生活に必要な施設がほどよくある
- ・ 他人を思いやる心を育てる
- ・ 他地域と必要な機能を補完するためのネットワークづくりを行う
 - 駐車場は、施設関連だけで十分。「クルマ社会だから駐車場」というのでは短絡的だし、十分な台数分の用地を確保できる訳でもない。下手に少々駐車場を造っても、周辺にさらなる渋滞を招くだけ。公共交通の拡充、自転車の活用をより考える。クルマについては、送迎スペース（キス&ライド用）を充実させる。
 - ほどほどの利便性

協働／市民が共に関わり支えあうまち

・みんなで支えあい育てていくまちにしよう

人々がお互いを思いやり、できることを積み重ね、足りないところを補い合いながら、みんながしあわせに暮せるまちにしていきたいと思います。そのために協調し協力しながら、相互の信頼と温かく豊かな人間関係に支えられたコミュニティをつくり、みんなでまちを育てていきたいと思います。

(例えば)

- ・ 地域の清掃活動や防犯パトロールに参加する
- ・ この地域で買い物や飲食をする
- ・ 隣近所さんと挨拶を交わし、近隣清掃などで適度のおつきあいをする
- ・ 商業施設において地域で採れた農産物や名産品を取り扱う
- ・ 地域でまちを育てていく組織をつくり、活動を行う
 - 地元の業者がうるおう町に。業者をつぶす町にしないで。
 - 商業施設との関連をもたせて福祉関係の施設や障害者の働ける場所など作ってほしい
 - 市民が経営に参加出来るまちづくり
 - 市民の雇用を創造するまちづくり
 - 困っていること悩んでいることに対処できる人がいるという安心感
 - この新しい町の自治組織まちづくり、まちを運営する組織が必要（C）
 - 公共の施設については企画、運営に市民が参加し意見が言える組織をつくる（C）

・みんなでにぎわいや活気をつくり出すまちにしよう

営利でつくられた施設でお金を払って楽しむよりも、市民がイベントを創り、みんなが参加して楽しむような手づくりのにぎわいや活気があふれるまちにしましょう。

(例えば)

- ・ たくさんの方が集まるイベントを企画する
- ・ さまざまな市民活動に積極的に参加する
- ・ 市民活動に使用する集会室や会議室をつくる
- ・ コミュニティにおけるリーダーを育てる
 - できれば自転車道の整備を(端地でも工夫すれば設けられる)歩道に植樹するのはいいが、枝打ちはきちんとしてほしい。(大阪市Y区では、せっかくの自転車道がマトモに枝打ちしてなくて、走れない所があった)→枝打ちは市民レベルでやるのも検討（[協働]との関係）
 - 学生さんたちの声をよく取り入れて、特徴のあるまちづくりが必要ではないか